

令和5年度 進路だより

わくわくワーク 第3号

令和5年10月27日
富山県立しらとり支援学校
進路支援部

秋が深まり、木々の葉も色付いてまいりました。今回は、本校の進路支援に関する活動についてお知らせします。

「第1回インターンシップ推進委員会」(8月25日(金)開催)

インターンシップ推進委員会は、児童生徒一人一人に応じたよりよい進路支援ができるように、福祉事業所、行政の福祉関係者などの外部委員を交えて意見交換を行う委員会で、年2回開催されます。

第1回の委員会は、本校の進路支援の取り組みや卒業生の進路先、アフターケアの状況、在校生の第1回就業体験について外部委員の方々から意見をいただきました。

各委員のご意見を一部紹介します。

小学部、中学部で行う進路支援について

- ・小学部、中学部段階で自分の進路について考えることは難しい。まずは「学校に通うことが嬉しい、楽しい(毎日通える)」「がんばったらほめてもらえる(やりがいや報酬の体験)」ということが大切である。
- ・「働きたい」「自立したい」など「～したい」という気持ちをもてることが就労につながる。
- ・生活が豊かになる楽しみをどんどん身に付けていけるとよいが、楽しみだけになってしまわないように、楽しみと報酬を結び付けることも必要である。
- ・挨拶ができること、毎日通えることが大切である。

障害福祉サービス事業所について

- ・事業所の種類ごとに雇用形態や工賃など細かい違いがある。工賃が低くても、20歳を過ぎれば障害福祉年金を申請することができるので、情報を集めて卒業後の生活を思い描いてほしい。
- ・保護者の方には事業所の方とコミュニケーションをとり、「理解してくれる支援者を増やす」というスタンスで子供のことを知ってもらおうと良い。

1月末には第2回インターンシップ推進委員会を行います。1年間の進路支援の取組を報告し、ご意見をいただく予定にしています。

「高等部進路学習会」(7月30日(月)開催)

富山市福祉保健部障害福祉課から2名の講師をお迎えし、高等部3年生の保護者を対象にした進路学習会を行いました。当日は、「障害福祉サービスについて」「卒業後利用できるサービスについて」「障害福祉サービスを受けるまで」「障害基礎年金について」「成年後見制度について」という内容で、各障害福祉サービスの説明や必要な手続きなどについて分かりやすく説明していただきました。



「先輩こんにちは」(9月26日(火)開催)

一般企業、就労継続支援 B 型事業所で働いている卒業生が来校し、仕事の様子や卒業後の生活について話を聞きました。また、生活介護事業所で働いている卒業生に事前に取材し、その内容をまとめたスライドを見ました。参加した中学部・高等部の生徒たちは真剣に話を聞いたり質問をしたりして、有意義な時間を過ごすことができました。



先輩方の仕事を紹介します

<令和元年度卒業生>



[勤務先] 株式会社 スカイインテック (一般企業)

清掃、メールボックスへの配達・回収、パークングの清掃、レストラン接客、皿洗の仕事をされています。時間内に仕事を終わらせるよう手際よく仕事をしたり、お客さんに「また来たい」と思ってもらえるような接客を心掛けたりしながら働いているとのこと。

<令和3年度卒業生>

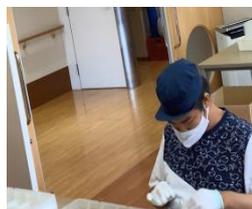


[勤務先] 特定非営利活動法人ひまわり ひまわり

(就労継続支援 B 型事業所)

部品の組み立てと検査、タオル畳み、信書便の仕事をされています。部品の向きが全て同じになるよう並べたり、信書便は、宛名を間違えないように棚入れしたりしているとのこと。

<令和3年度卒業生>



[勤務先] 社会福祉法人恵風会 多機能型事業所このみ

(生活介護事業所)

部品組立、部品並べ、アメニティ袋詰めなどの仕事をされています。部品の形をよく見て組み立てたり、部品の不備を見つけて支援員に知らせたりしながら集中して仕事をしているとのこと。

仕事を継続するために大切なことを聞きました

<先輩の話より>

- ・真面目に真剣に取り組むこと
- ・挨拶をはっきりと言えるようにすること
- ・就業体験でいろいろな事業所へ行って経験し、自分に合った場所を見つけること

<勤務先の方より>

- ・分からないことを周りの人に聞く力を身に付けること
- ・時間を守る、挨拶ができる、周りの人とコミュニケーションがとれること
- ・規則正しい生活を送り、病気にならない身体を作ること
- ・好きなことや楽しみを見つけること

今回先輩や勤務先の方から教えていただいた、働くために必要な力や卒業後の生活で大切なことを身に付けられるよう、学校生活や学習に取り組んでいきたいと思えます。